輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議

地方創生 やらまいか通信 vol.233

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和２年６月８日

ICT専門官として民間人材を初登用！「デジタル専門人材」

中小企業へのICT導入促進をはじめ、ICTを活かしたまちづくりの伝道師として活躍中

2020.4.17 静岡新聞（朝刊）

袋井市ICT政策課専門官に就任

鈴木（すずき） 一生（いっせい）さん （名古屋市）

この人

民間企業の人材を地方公共団体に派遣する内閣府の「デジタル専門人材派遣制度」でNTTドコモ東海支社（名古屋市）から出向。袋井市が管理職に民間人材を登用するのは初めて。中小企業への情報通信技術（ICT）導入促進などに取り組む。40歳。

―赴任した感想は。

「職員の皆さんに温かく受け入れてもらい、業務に集中できている。まず仕事の進め方を覚えているところだが、想像より設備や発想力などの面では企業と差がなく、袋井市のレベルの高さを感じている」

―袋井市の印象は。

「産業と自然のバランスが良い街。昨年のラグビーワールドカップを契機に5Gのサービスエリアになったエコパでさまざまな検証をしたい。法多山の団子も気になる。袋井のことを知り、溶け込みたい」

―派遣の経緯は。

「上司から打診があった。思いがけない話で驚いたが、迷いはなかった。貴重な経験だし、自分がどれくらいできるか挑戦したいとの思いが強かった」

―抱負は。

「デジタル専門人材として派遣された以上、業務を終える2年後までにICT推進のノウハウを確立する。市の職員や市民のみなさんと頑張りたい」

◇

趣味はカヌー。週1回程度、小中学生を指導するのが楽しみ。

（袋井支局・仲瀬駿介）

内閣府「デジタル専門人材派遣制度」を活用

未来技術を活用した事業を通じて地域課題の解決を目指しまちづくりのDXを加速させる

袋井市デジタルミニ講座

現在普及しているデジタルサービスやオンラインサービスなどの使い方を、初めて利用する方々のためにわかりやすく解説。

2020.6.5 静岡新聞（朝刊）

ビデオ会議アプリで朝礼

袋井市、ICT導入推進へ

ビデオ会議アプリ「Zoom」を使って行われた朝礼＝袋井市役所

袋井市は4日、月初めの朝礼をビデオ会議アプリ「Zoom（ズーム）」を使い、オンラインで行った。新型コロナウイルス対策の一環。市は今後、さまざまな業務への情報通信技術（ICT）の導入を進めていく。

従来は本庁舎の会議室に100人前後の職員が集まって行われていたが、今回は市防災センターや袋羽支所など4カ所に中継。画面を通じて朝示した原田英之市長は「離れた場所にいる職員にもしっかり伝えられて良かった。反応を聞きながら今後も継続していきたい」と話した。

市は新たな生活様式を活用したコミュニケーションツールの普及を進めていて、Zoomの使い方をホームページや会員制交流サイト（SNS）などで紹介している。

（袋井支局・仲瀬駿介）